

# 高知高須病院は 前立腺癌の新診断装置と低侵襲手術支援ロボットの新型機種を導入しました。



副院長 泌尿器科  
松下 和弘

当院では前立腺癌摘出手術に対し、2015年9月から低侵襲手術支援ロボット手術を開始していましたが、2018年末に新型機種を導入しました。

また、超音波診断装置を用いた前立腺癌診断を開始しました。

これからも専門性を活かし、チーム医療を実践して、泌尿器科疾患の患者さんにとって身体的負担の少ない治療を提供できるよう努めてまいります。



院長 泌尿器科  
大田 和道

50歳以上の男性の皆さん!

最近、前立腺癌がものすごい勢いで増えています。

前立腺癌は自覚症状に乏しいですが、まず

採血検査(PSA=前立腺特異抗原)を行うのが第一歩で、異常値であれば前立腺生検を行います。

**もう一度言います。**

50歳以上の男性の皆さん!前立腺癌の早期発見のため、PSA採血を行いましょう。検査をご希望の方は、ぜひ当院泌尿器科にお越しください。

## 低侵襲手術支援ロボットとは

従来の腹腔鏡手術と同じように、いくつかの小さな切開部を作り、外科医の操作に従って内視鏡・メス・鉗子を動かし、内視鏡下で手術を行う支援ロボットです。当院では、前立腺癌摘出手術などに対応します。

特長

- 切開部分が小さくてすむため、傷が少なく出血が抑えられ患者さんの負担が軽減されます。
- ロボットの鉗子は人間の手よりも大きな可動域と、手ぶれ補正機能により精密な手術を行えます。
- 3D画像を見ながら手術ができます。

## 前立腺癌 超音波画像診断装置

血液検査で癌の疑いがある患者さんに対し、あらかじめ撮影したMRI画像と超音波画像を合成し、前立腺を3次元画像で表示します。腫瘍の大きさや位置を見極めながら針を刺すことにより確定診断に貢献します。

<中四国での導入実績病院>  
広島大学病院・鳥取大学医学部附属病院・川崎医科大学附属病院

展示風景



**展示コーナー** 2月28日(木)まで、旧型ロボットを展示しております。

旧型の低侵襲手術支援ロボットをロビーにて展示しております。どなたでもご自由に見て、触れてぜひご体感ください。詳しい説明をお聞きになりたい方は受付までお声がけください。



医療法人 尚腎会  
**高知高須病院**  
KOCHI TAKASU HOSPITAL

〒781-5103 高知市大津乙2705-1 TEL 088-878-3377  
外来診療予約センター TEL 088-802-7576